東吳大學115學年度碩士班招生考試試題

系級	法律學系碩士班B組(刑事法)	考試時間	100 分鐘
科目	日文	本科總分	100 分

※一律作答於答案卷上(題上作答不予計分)；並務必標明題號，依序作答。

一、次の各単語を、日本語の読み方をひらがなで記しなさい。(各問2点、計10点)

例：刑事訴訟法　→　「けいじそしょうほう」

1. 拘留

2. 公訴

3. 起訴猶予

4. 職権主義

5. 控訴制度

二、次の各日本語の単語を中国語の法律用語に翻訳しなさい。(各問2点、計10点)

例：デュ・プロセス　→　「正當法律程序」

1. 勾留

2. おとり捜査

3. 執行猶予

4. 親告罪

5. 差押え

東吳大學115學年度碩士班招生考試試題

系級	法律學系碩士班B組(刑事法)	考試時間	100 分鐘
科目	日文	本科總分	100 分

三、以下の条文及び裁判文の該当箇所を中国語に翻訳しなさい。(計 80 点)

(一) 条文翻訳

1. 日本国憲法第 34 条

何人も、現行犯として逮捕される場合を除いては、権限を有する司法官憲が発し、且つ理由となつてゐる犯罪を明示する令状によらなければ、逮捕されない。**(10 点)**

2. 刑事訴訟法第 197 条第 1 項

捜査については、その目的を達するため必要な取調をすることができる。但し、強制の処分は、この法律に特別の定のある場合でなければ、これをすることができない。**(10 点)**

3. 検察審査会法第 30 条本文

第二条第二項に掲げる者は、検察官の公訴を提起しない処分に不服があるときは、その検察官の属する検察庁の所在地を管轄する検察審査会にその処分の当否の審査の申立てをすることができる。**(10 点)**

(二) 判決文の段落(取り消し線の箇所は翻訳しなくてよい)

【最大判平成 29 年 3 月 15 日刑集第 71 巻 3 号 13 頁】

……(1)ＧＰＳ捜査は，対象車両の時々刻々の位置情報を検索し，把握すべく行われるものであるが，その性質上，公道上のもののみならず，個人のプライバシーが強く保護されるべき場所や空間に関わるものも含めて，対象車両及びその使用者の所

東吳大學115學年度碩士班招生考試試題

系級	法律學系碩士班B組(刑事法)	考試時間	100 分鐘
科目	日文	本科總分	100 分

在と移動状況を逐一把握することを可能にする。このような捜査手法は，個人の行動を継続的，網羅的に把握することを必然的に伴うから，個人のプライバシーを侵害し得るものであり，また，そのような侵害を可能とする機器を個人の所持品に秘かに装着することによって行う点において，公道上の所在を肉眼で把握したりカメラで撮影したりするような手法とは異なり，公権力による私的領域への侵入を伴うものというべきである。

(2)憲法３５条は，「住居，書類及び所持品について，侵入，捜索及び押収を受けることのない権利」を規定しているところ，この規定の保障対象には，「住居，書類及び所持品」に限らずこれらに準ずる私的領域に「侵入」されることのない権利が含まれるものと解するのが相当である。そうすると，前記のとおり，個人のプライバシーの侵害を可能とする機器をその所持品に秘かに装着することによって，合理的に推認される個人の意思に反してその私的領域に侵入する捜査手法であるＧＰＳ捜査は，個人の意思を制圧して憲法の保障する重要な法的利益を侵害するものとして，刑訴法上，特別の根拠規定がなければ許容されない強制の処分に当たる~~（最高裁昭和５０年（あ）第１４６号同５１年３月１６日第三小法廷決定・刑集３０巻２号１８７頁参照）~~とともに，一般的には，現行犯人逮捕等の令状を要しないものとされている処分と同視すべき事情があると認めるのも困難であるから，令状がなければ行うことのできない処分と解すべきである。(50 点)